

本ソフトウェアは GMP/GLP/GSP/FDA/ISO22000 標準に適合します。

<ソフトウェア実行の最低環境>

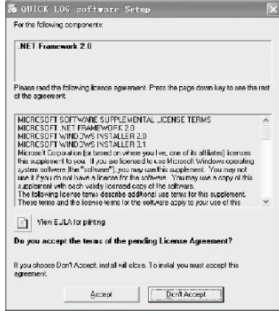
IBM
Intel
1GB 以上のメモリ容量
24× 以上の CD-ROM ドライブ
20GB 以上のハードメモリの残容量
Microsoft.NET の実行環境

Windows SVR 2000/2003/2008/2000/XP/Vista/WIN7/WIN8

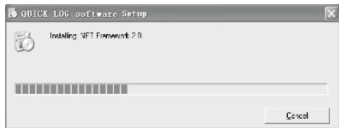
データ抽出は Office XP/2003/2007/2013 など多種のフォーマットに適合します。

<インストールの流れ (Windows XP, V1.0 ver の場合)>

パソコンの CD-ROM ドライブに付属の CD-ROM を入れてください。以下の画面が表示されます。



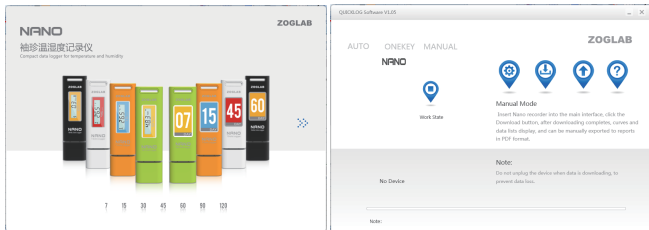
Microsoft.NET 実行環境及び言語パックをインストールしたことが無い場合、インストールプログラムは自動的にインストールします。約 1～2 分程で完了します。(システムの種類による)



-1-

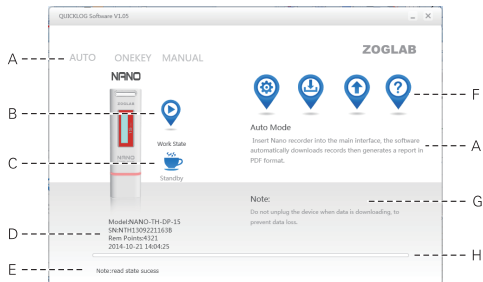
クイックセットアップ及び機能説明

ソフトウェアを起動してトップページに入ります。3 秒後に自動的に主画面に入りますが、 をクリックしても主画面に入ります。



トップページ

ソフトウェア主画面



A: データダウンロードのモード選択

データをダウンロードする際のモードを選択でき、自動・ワンクリック・手動の 3 種類があります。右側に選択したモードの概要説明が表示されます。

B: 記録の開始/停止



C: 運転状態

スリープ状態・待機状態・記録状態の 3 種類があります。



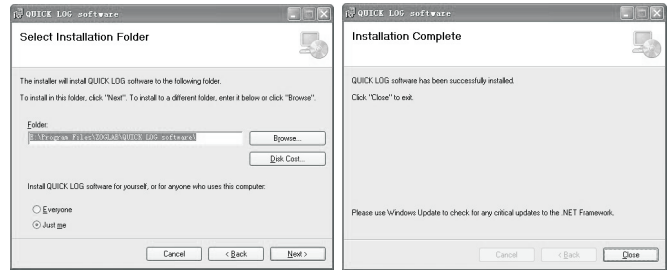
-3-

Microsoft.NET 実行環境のインストールが完了してから、ソフトウェアのインストール画面に入ります。



インストールする場所及び使用権限を選択してください。

正常にインストールが完了すると、完了画面が表示され、デスクトップとプログラム欄にショートカットが追加されます。



ショートカット

-2-

D: 製品情報

本製品の型番、シリアル番号、残りユニット数、時刻が表示されます。時刻は本体をパソコンに接続した際、自動で補正されます。

E: ロガーの読み取り状態を表示します。

F: 操作



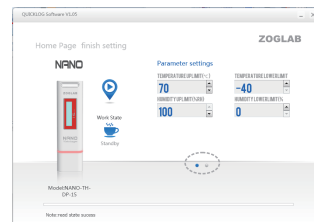
G: 注意事項

H: データの読み取り進度を表示します。

❗ ロガーを使用する際、ソフトウェアの主画面に入ってからパソコンに繋いでください。

<パラメータの設定>

主画面の右上にあるパラメータ設定 をクリックして設定画面に入ってください。温湿度上下限値、温度単位、スリープ/復帰、起動方式、遅延保存時間、定時起動時間及び定時終了時間などのパラメータを設定できます。



パラメータの設定画面は左図の点線で囲まれた点をクリックして切り替えてください。

● 上/下限警報の設定

矢印をクリックして上/下限警報設定値を変更してください。(直接入力可)



❗ 設定値はロガーの温度の測定範囲内で設定してください。

-4-

● 運転状態の設定

スリープと復帰の2種類があります。

スリープ：記録できない状態で、画面には何も表示されません。

復帰：待機状態であり、記録をスタートさせることができます。画面は2秒ごとに現時点の温湿度を表示しますが、データの記録はしません。

● 起動方式の設定

すぐに起動・遅延起動・定時起動の3種類があります。

すぐに起動：記録開始 をクリック、または磁性起動することで、すぐに記録が開始されます。

遅延起動：記録開始 をクリック、または磁性起動することで、遅延保存時間後に記録を開始します。

定時起動：記録開始 をクリック、または磁性起動することで、設定した時間に記録を開始します。

● 定時起動時間/定時終了時間の設定

起動方式を定時起動に設定した後、(YY:MM:DD)、(HH:MM:SS)の形の時間パラメータを設定してください。



● 遅延保存時間の設定

起動方式を遅延起動に設定した後、1～120秒の範囲で時間パラメータを設定してください。



● パラメータ設定の保存

パラメータの設定が完了すると左上の「設定完了」をクリックしてください。設定が保存されます。



❗ ロガーが記録状態にあるとき、設定の変更はできません。

❗ パラメータを設定すると、保存したデータは削除されます。

<記録の起動>

ソフトウェア主画面の記録開始キー をクリックすると、設定した起動モードで記録が開始します。記録開始時、画面に“REC”が2秒間表示され、記録中は緑ランプが10秒ごとに点滅、同時に容量マークが点滅します。

❗ ロガーがスリープ状態のときは記録できません。

❗ 記録が起動すると、前回保存したデータは削除されます。

<記録の終了>

記録の終了は容量不足終了と定時終了の2種類があります。

容量不足終了：ロガーの最大保存容量になると、自動的にデータの記録が終了します。
定時終了：設定した定時起動/終了時間によりデータを記録します。

記録が終了する時、緑ランプが2回点滅（間隔10秒）、画面に“End”が2秒間表示されます。同時に容量マークの点滅が停止します。

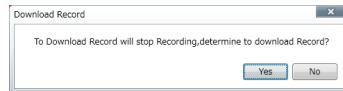
<ダウンロードおよびデータの抽出>

ソフトウェアの主画面から、ダウンロードのモードを選択してください。

● 手動モード

1. ロガーをパソコンに接続してください。

2. データダウンロード をクリックすると以下の画面が表示されます。



データダウンロード画面

“Yes”をクリックすると、記録が停止されダウンロードが完了後、曲線グラフ画面に入ります。曲線グラフを以下に示します。



グラフは画面をドラッグすることで拡大できます。

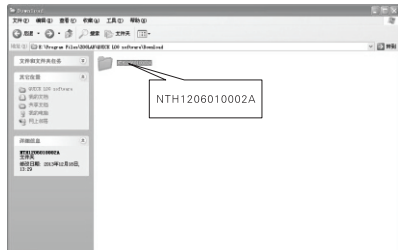
をクリックすると、「データリスト」が表示されます。

をクリックすると、「オーバー値データリスト」が表示されます。

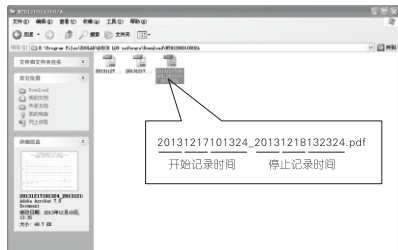
| No. | CalibTime | Temperature(°C) | Humidity(Relative) |
|-----|---------------------|-----------------|--------------------|
| 1 | 2014-08-20 08:42:08 | 26.2 | 53.0 |
| 2 | 2014-08-20 08:42:08 | 27.0 | 53.0 |
| 3 | 2014-08-20 08:42:08 | 27.0 | 53.0 |
| 4 | 2014-08-20 08:42:08 | 26.4 | 53.0 |
| 5 | 2014-08-20 08:42:08 | 26.4 | 53.0 |
| 6 | 2014-08-20 08:42:08 | 26.4 | 53.0 |
| 7 | 2014-08-20 08:42:08 | 26.4 | 53.0 |
| 8 | 2014-08-20 08:42:08 | 26.7 | 53.0 |
| 9 | 2014-08-20 08:42:08 | 26.7 | 53.0 |
| 10 | 2014-08-20 08:42:08 | 26.4 | 53.0 |
| 11 | 2014-08-20 08:42:08 | 26.2 | 53.0 |
| 12 | 2014-08-20 08:42:08 | 27.0 | 53.0 |
| 13 | 2014-08-20 08:42:08 | 26.2 | 53.0 |
| 14 | 2014-08-20 08:42:08 | 26.3 | 53.0 |
| 15 | 2014-08-20 08:42:08 | 26.4 | 53.0 |
| 16 | 2014-08-20 08:42:08 | 26.4 | 53.0 |
| 17 | 2014-08-20 08:42:08 | 26.4 | 53.0 |
| 18 | 2014-08-20 08:42:08 | 26.4 | 53.0 |
| 19 | 2014-08-20 08:42:08 | 26.4 | 53.0 |
| 20 | 2014-08-20 08:42:08 | 26.4 | 53.0 |
| 21 | 2014-08-20 08:42:08 | 26.4 | 53.0 |
| 22 | 2014-08-20 08:42:08 | 26.4 | 53.0 |
| 23 | 2014-08-20 08:42:08 | 26.4 | 53.0 |

をクリックすると、PDFファイル形式で保存されます。

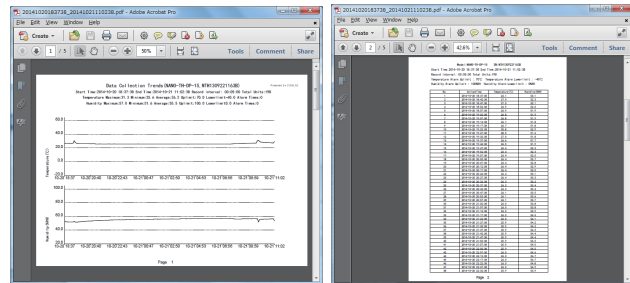
PDFファイルの保存場所はインストールの“Download”になっています。



ダウンロードしたデータは“Download”中のNANO番号で名前を付けたファイルに保存されます。また、PDFファイルは記録の開始時間と終了時間で名前を付けられています。



データファイルはデータ傾向図とデータリストの2種類があります。データには、記録の開始/終了時間、記録の間隔時間、記録点数、温湿度の最大値・平均値・限界値、オーバーの回数等の内容が含まれています。



● ワンクリックモード

1. ロガーをパソコンに接続してください。

2. データダウンロード をクリックすると「データダウンロード」画面が表示されます。“Yes”をクリックすると、記録が停止され自動的にダウンロードしてPDFファイルを作成し保存します。

● 自動モード

1. ロガーをパソコンに接続してください。

2. 自動的に記録の停止、データのダウンロード、PDFファイルの作成・保存を実行します。

❗ データのダウンロード時は、データの紛失を防ぐためUSBは抜かないでください。